

令和5年度大阪府障がい者委託訓練事業にかかる
大阪府公募型プロポーザル方式等事業者選定委員会 議事要旨

1 日 時

令和5年1月6日（金）15時から15時30分まで

2 開催方法

Web会議

3 選定委員会委員

澤田 敏仁（大阪府社会保険労務士会）

川口 智規（大阪府中小企業家同友会）

向後 礼子（近畿大学教職教育部）

4 審査方法

令和5年度大阪府障がい者委託訓練事業に係る企画提案公募要領に定める審査基準に基づき、3名の選定委員会委員が書類審査を行い、令和5年度大阪府障がい者委託訓練事業に係る企画提案公募要領の6の(2)審査基準の配点に基づき採点・評価した。

5 議事概要

令和5年度に実施する障がい者委託訓練（知識・技能習得訓練（集合訓練、職場実習付き訓練）、e-ラーニング、在職者訓練）の実施事業者を選定するため、企画提案公募を実施し、応募のあった事業者の企画提案について、その内容を選定委員会で評議するとともに、得点の高い順に訓練区分に応じて選定した。

6 選定委員発言等要旨

訓練・カリキュラム内容、訓練中及び訓練終了後の就職支援内容の評価、採点にあたっての考え方等について意見があった。

- ・近年のテレワーク化の流れに対応し、Zoom機能やITセキュリティを学ぶ科目があるなど、時代に合った提案が多かったと感じた。
- ・障がいのある方のサポートをしている経験から、この訓練を受講することによって就職できるのか、社会の一步を踏み出せるのかというところを特に重要視して採点した。
- ・訓練で使用するソフトのバージョンが古い提案があった。受講生としては、せっかく訓練を受けたのに、就職先で新しいソフトを使いこなせないとなってしまうのは、改善いただければと思う。
- ・訓練実施体制について、少ない講師数で訓練を実施する提案があった。講師に体調の悪い方が出てしまったときに、十分にカリキュラムに沿った訓練やサポートができるようにしていただきたい。
- ・障がい者の特性に対応したテキストを用意する提案があった。学ぶ方の特性に合わせた工夫をされていると感じた。